

この解説シートは、先生向けにつくられています。
クイズシートとあわせてご覧ください。
また、ごく簡単な解説も載せてありますので、生徒さんから質問などあった際にお役立てください。

日光自然博物館作成

① 答え. 中禅寺湖 (約 1,300m)

- 奥日光の地形は大きく分けると 3 段の階段のような地形になっています。
一段目、およそ 1,300mには中禅寺湖、二段目、およそ 1,400mには戦場ヶ原、三段目、およそ 1,500mには湯ノ湖があります。
- この 100mの標高差が気温や雪の量、植物の種類の違いなど、奥日光の自然に影響しています。

自然

歴史

その他

② 答え. (上から) 湯滝、竜頭滝、華厳(巖)滝

- 奥日光の地形の特徴のひとつに、水に侵食されやすい地質があげられます。そのため、数多くの滝が存在し、現在でもその数は定かではありません。奥日光の水は湯ノ湖→湯滝→湯川→竜頭滝→中禅寺湖→華厳滝を経て、最後は利根川を流れて太平洋へ注ぎ込みます。

自然

歴史

その他

③ 答え. みんなが書いた答えが正解

- 樹皮の手触りは、木によってツルツルだったり、ガサガサしたり、スベスベだったりさまざまです。
外に行った時は、いろいろな木に触り、手触りを楽しんでみてください。

自然

歴史

その他

④ 答え. ヒグマ

- 奥日光にいるクマはツキノワグマです。ヒグマは日本では北海道にしかいません。両種の一番の違いは大きさで、ヒグマが2mを越すのに対し、ツキノワグマは140cmくらいと小さめです。
- アナグマは名前にクマと付きますが、クマではなくイタチの仲間です。



自然

歴史

その他

⑤ 答え. 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約

- 正式名称が長いため、この条約が採択されたイランの町の名前をとって、「ラムサール条約」と呼ばれています。世界で初めて誕生した自然保護のための国際的な条約で、国境を越えて移動する渡り鳥のルートを、国同士が協力し合って保護することが決められています。

自然

歴史

その他

⑥ 答え (例) ゴミのポイ捨てをしない。

- 木道から降りない。
花や昆虫を採らない など。
- 奥日光には自然を求めて沢山の人が訪れます。自然を壊さないようにするためにも、守らなくてはならないマナーがあります。
- 上記以外にも、心がけなくてはいけないことがまだあります。自然の中に出かける前に、もう一度、心にとめてみて下さい。

自然

歴史

その他

⑦ 答え. A (山に登っているとき)

- 鳥を含めた様々な生きものたちはそれぞれが好む環境で生息しています。ホシガラスは亜高山帯（奥日光の場合は標高1,500m以上）の針葉樹の林に生息する鳥なので、山に登らないと会うことはできません。
- この他、こうした高い山の鳥としてはルリビタキやコマドリ、キクイタダキなどがあげられます。

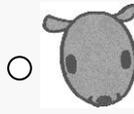
自然

歴史

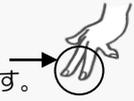
その他

⑧ 答え

シカの足を人間の手で表現するとこんな感じになります。



中指と薬指がひづめにあたります。



水の中で生活するカモの仲間は、泳ぎやすいように水かきがついています。



水辺で小魚などを捕まえて食べます。長い足は深めの場所でも対応できるようになっています。

自然

歴史

その他

⑨ 答え. 大蛇（栃木県の男体山の神様）と大ムカデ（群馬県の赤城山の神様）

- 昔々、中禅寺湖の所有をめぐる、二荒山（男体山）の山の神様（蛇）と赤城山（群馬県）の山の神様（ムカデ）が戦ったという伝説があります。その戦いの場となったのが戦場ヶ原だと言われています。他にも、勝負がついた地を曇浦ヶ浜、宴を開いて祝った地を歌ヶ浜といい、この伝説に由来する地名が残っています。

自然

歴史

その他

⑩ 答え. しょうどうしょうにん

- 日光を最初に発見した人。782年、苦難の末、男体山に登ることに成功しました。勝道上人にまつわる伝説もあり、日光に来た際、大谷川の激流を渡れずに困っていると、深沙大王（じんしゃだいおう）が現れて蛇の橋を架けてくれたそうです。それが、今の神橋だと言われています。

自然

歴史

その他

⑪ 答え. C (奥日光の魅力を世界に広めた人)

- イギリス人の旅行家で、著書「日光奥地旅行記」では、奥日光の文化と自然の豊かさを世界に紹介しました。また、英国駐日公使館の通訳見習いをしていたアーネスト・サトウも、在日外国人に日光の魅力を伝えた人として有名です。

自然

歴史

その他

⑫ 答え. 下図



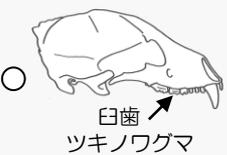
角はオスだけに見られ、毎年、生え変わります。枝分かれした本数でだいたい年齢を知ることができます。

自然

歴史

その他

⑬ 答え. B



肉食だと思われがちですが、食べ物をすりつぶすための臼歯もあって、私たち人間の歯と近いつくりになっています。

シカのオスの頭骸骨には、角を支える角座が付いていますが、メスにはありません。

上には前歯がありません！

自然

歴史

その他

⑭ 答え



雑食性で、ネズミなどを捕まえて食べた後のウンチの中には、毛や骨が混じっています。

植物の葉や枝などを食べるため、ウンチの中身は細くなった植物です、干草のにおいがします。

本来は木の実や葉、虫などを食べています。健康状態や食べ物により、形が変わりますが、おむすび型のももあります。

注) 屋外にあるウンチは手で触らず、木の枝などでつついて下さい。

自然

歴史

その他